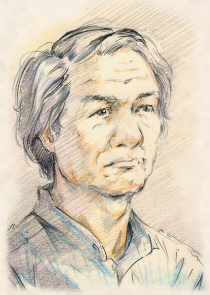
長月
September
9月



イラスト：西川洋平

西川隆一（五十八歳）

朝六時前よりあれほど忙しく鳴いていた蝉の声も徐々にその時刻も遅れ、それとクロスするように草むらから虫の声。合わせて朝夕は幾分凌ぎやすくなった感あり。夏の甲子園は試合始めの宣誓「…日本中熱くする事を誓います」の言葉通りとなった。もうこれは駄目だろうと思った試合が、逆転に継ぐ逆転。今更のように勝負は終わってみないとわからないものだ。その瞬間に全身全霊を以て試合に打ち込む若者達の姿は、夏の暑さと反比例して涼風のように清々しい。汗あり涙あり…肩を落として甲子園を去る球児。決勝戦が延長引分け再試合。翌日の再度の決勝戦も多くの人達の感動を残した名試合となった。それを見ながら私ははたして今までにこれほど真剣に必死に瞬時にでも経験したろうか…と反省もする夏の終わりである。

山鳩の巣

玄関先の右手に比較的大きな槙の木が一本ある。梅雨の時期だったか「グーグー」と山鳩の鳴き声がしている事に気がついた。こんもりと丸く刈り上げられた葉の塊が重なり合って、その上部の三段目くらいな所に巣作り場所を決定したらしい。「この雨が降るのにご苦労なことで…」と気になりながら出入りする度に槙の木を見上げた。梅雨も明け今度はカンカン照り。少しは夏の厳しい太陽の暑さも凌げるのだろうか？巣を作ったすぐ上に又こんもりと葉の塊があり日除けとなっているらしい。暫くじっと見ていると、びっくりしたような丸い目で私を見下ろしながら相変わらず「グーグー」と鳴いている。子供の頃にはこのような平地に山鳩は居なかったと思うが、自然環境の変化のせいかこの周辺でも良く見られるようになった。鳥が巣作りをするのは、次の世代を育てる意味でも出来るだけ安全な場所を選ぶと聞いた。家主である私もそう言う点で「安全な人」と合格点をくれたのであろう。どうかこの槙の木で雛が育ち巣立って欲しいと望む毎日である。家に鳥が巣作りするのは幸運の兆しと言われるがどうかそうであって欲しいものである。今日も一日暑そうである。あの「グーグー」の声を耳にして槙の木を見上げそして親鳥と視線を合わせ？工房へと向かった。

木彫人形
花心
Kashin

住所
愛媛県松山市道後湯之町20-19
（道後温泉商店街内）
営業時間／8：00～22：00
電話番号／089-945-9050

店舗地図

南雲 秋物語

月への道のり
8,925円 本体価格 8,500円
55×16.5ｃｍ

うさぎの名月の宴 26,250円　本体価格 25,000円
うさぎ5ｃｍ台 45×28ｃｍ屏風中 29×20ｃｍ裾 13.5×20ｃｍ
三曲屏風 満月秋野屏風 15,750円　本体価格 15,000円
（屏風のみの別売も出来ます）

ねずみの嫁入り
18,900円　本体価格 18,000円
婿 5.5ｃｍ 嫁 7ｃｍ 屏風（高さ）10.5ｃｍ
台 27×21ｃｍ